

# 「地域の声をカタチに」

見守り活動を支援する大崎市社会福祉協議会の取り組み



少子高齢化を始めとする近年の様々な社会変容は家族機能や地域互助の脆弱化を生み、社会的孤立など地域内の課題は一層深刻化し、地域の支え合いが改めて期待されており。今号では、誰もが安心して暮らせる地域を目指し、地域住民による高齢者世帯等への見守り活動「地域見守りネットワーク事業」を住民の視点に立って支援する大崎市社会福祉協議会（以下「社協」）の取り組みを紹介いたします。

## ●住民主体の活動支援を目指して

大崎市内で社会的孤立の課題が顕在化し始めた平成19年、民生委員の方々などから「地域での見守り活動は必要だが、どう広げて行けば良いかわからない」という相談が社協へ寄せられるようになり。そこで大崎市社協では先進地の事例や勉強会等により検討を重ね「大崎市見守り活動のスタイル」づくりを目指し、平成22年度より古川地域の5行政区をモデル地区として当該事業を開始しました。当初は「社協が直接見守りして



▲大崎市社協「地域見守りネットワーク事業」様々な場面を通じて地域住民同士が支えあう見守り活動を支援しています。

れるのか」と単に社協の福祉サービスとして捉えられたり、住民主体の活動である事の負担や不安感から理解を得られないこともあり。しかし、何度地域に出向き丁寧に説明したことで、現在では、訪問活動やサロン活動、あんしんカードなど社協の各種事業等を活用しながら、地域の「気になる方」を見守りサポーター協力のもと住民同士で見守る活動として広がりを見せています。

## ●地域の活動者の声に寄り添い

当該事業は住民の方々による主体的な活動となっており、対象者も地域住民の気づきの中から上がってきます。大崎市社協では、社協の事業として推進するのではなく、事務処理に関する支援や見守り活動の開始の手法、訪問のきつかけとしてのツールや情報の提供など、地域の活動者が活動しやすい環境づくりを中心とした支援に力を入れています。定期的に開催している「見守りフォロー



▲見守りフォローアップ研修会の様子。事業の説明や病気の理解・関わり方、活動事例など、活動者の方々の声をもとに研修会を企画しています。

アップ研修会」では、活動者の「困っている」の声を寄り添う研修を企画しています。参加者からは「地域みんなで見守る必要性を感じた。協力を得られるよう働きかけていきたい」「思い当たる心配な方が頭に浮かんだ。気をつけながら見ていきたい」との声が聞かれ、住民活動の広がりにつながっていることが感じられます。

## ●地域を支えるネットワーク

大崎市社協では、当該事業はセーフティネット機能を果たすだけでなく、地域がつながるための一つのきっかけになればと考えています。社協が行っている他の地域福祉活動と組み合わせながら多くの方にこの取り組みを知ってもらうことで、何気なく気にかけてくれる地域内の協力者が増え、地域全体で見守る地域づくりへとつながる事を目指しています。また、見守りを行う中で住民だけでは解決できない場合もあります。社協は

活動者に寄り添いながら、困り事の相談を受けるなかで、社協本来の機能である関係機関とのネットワークにより、地域全体の福祉力を支えていくことを目指して取り組んでいます。

## ●今後に向けて

大崎市社協では平成24年度より大崎市全域で当該事業を推進しています。地域を構成する人や歴史、地理など地域毎に特徴があり、見守りネットワークに地域に根ざした活動とするために、取り組みの継続性や困難事例の深刻化による担い手不足、若い層の住民理解がなかなか進まないなど課題は山積していますが、各地域の特徴や声に耳を傾け、推進の方法や社協・各種サービスの関わり方についても検討しながら、地域に根ざした形での見守り活動を推進する大崎市社協の今後の展開に期待します。（取材 宮城県社協 地域福祉課）

大崎市 社会福祉協議会  
人口 134,950人 (平成26年10月現在)  
社協データ  
職員総数 725人

本所と古川・松山・三本木・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻の7つの支所、特別養護老人ホーム敬風園による9つの組織構成。地域福祉・生活支援・介護福祉・障害福祉事業など多岐にわたる事業展開を行っています。

# キラリ★ 仕事人

このコーナーでは福祉の職場で働くキラリ★と光る人を紹介します

今号では、社会福祉法人 仙台市社会事業協会 母子生活支援施設仙台むつみ荘で保育士(兼指導員)として働く、佐々木清香さんにお話を伺いました。



## 現在の職業に就いたきっかけは何ですか。

震災をきっかけに仙台に来て、絵本作家としての夢を叶えたいと考え、別の職種も経験しながら動いているなかで、縁あって現在の職場に勤務となりました。

## 現在のお仕事の内容を教えてください。

入所している子どもたちに対する保育士兼少年指導員業務を行っています。外部の保育所に通うことのできないお子さんのお預かりや、学校に通う子どもたちの学習支援、日々の関わりの中で気になった子に対する面談やメンタルケア、さらに親御さんが抱える子ども自身の発達や心理面での悩み解決のお手伝いも行ないます。

## 今のお仕事のどんなところがやりがいを感じますか。

毎日の関わりの中で、子どもたち自身の持っている良さが発見でき、発見した良さがその子自身の自信につながっている様子が見えた時は、やりがいを感じます。子どもとの関わりから学ぶことは多いですね。

## 大変だと感じるところはどこですか。

様々な相談に乗る上で、距離感の取り方は難しいと感じます。近すぎても、離れすぎてもいけない、適度な距離感で関わることは難しいと感じます。また、子どもの人生に大きく関わるような決断に携わる際は、その難しさを感じます。

## 仕事をすることで心がけていることは何ですか。

入所されているお母さんや子どもたちに元気を分けてあげられる存在として、いつも元気で、笑顔でいるように心がけています。また、子どもたちやお母さん方と日々関わるうえで、相手はどんなことを伝えようとしてくれているんだろうと、傾聴することを心がけています。

## 同じような職場で働きたいと思っている方へ一言！

就いた職業が目指した職業や、もとも自分の夢としていなかったことであつたとしても、一つひとつ取り組むうちにやりがいが見えてきます。目の前のことに対して、楽しみややりがいを持って取り組んでいくことが出来たら、自分の生き方が見えてくるはずですよ。

## 平成26年度 社会福祉施設 総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の  
**事故・紛争円満解決のために!**

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

スケールメリットを活かし、有利な補償と割安な保険料です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険)

賠償事故	補償金額	
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
お見舞い等	死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
	利用者傷害死亡事故弔慰金 100万円(78-100万円)	死亡(重度後遺障害) 100万円(78-100万円)
利用者傷害事故見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5-7万円 通院時1-3.5万円

プラン2 施設利用者の補償  
プラン3 施設職員の補償

この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(賠償責任保険「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
(引受幹事保険会社) 株式会社損害保険ジャパン  
TEL:03(3593)6433

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

日本興亜損保と損保ジャパンは、関係当局の認可等を前提として、平成26年9月1日に合併し、「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」になります。(SJ13-12122 2014.2.13作成)